



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 日本化薬株式会社 上場取引所 東
コード番号 4272 URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 涌元 厚宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 川村 勉 (TEL) 03-6731-5842
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 149,753 | △2.5 | 4,111 | △78.4 | 7,473 | △64.4 | 2,829 | △81.4 |
| 2023年3月期第3四半期 | 153,627 | 11.2 | 19,062 | 9.9 | 20,994 | 11.8 | 15,241 | 8.4 |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 12,766百万円(△27.9%) 2023年3月期第3四半期 17,699百万円(△0.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 17.06 | 17.04 |
| 2023年3月期第3四半期 | 90.62 | 90.60 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 351,294 | 259,911 | 73.7 |
| 2023年3月期 | 322,858 | 255,027 | 78.7 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 258,932百万円 2023年3月期 254,018百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 20.00 | — | 25.00 | 45.00 |
| 2024年3月期 | — | 22.50 | — | | |
| 2024年3月期(予想) | | | | 22.50 | 45.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 | |
| 通期 | 202,300 | 2.0 | 6,000 | △72.1 | 9,700 | △57.9 | 5,800 | △61.3 | 34.98 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2024年3月期3Q | 170,503,570株 | 2023年3月期 | 170,503,570株 |
| 2024年3月期3Q | 4,637,972株 | 2023年3月期 | 4,732,954株 |
| 2024年3月期3Q | 165,828,613株 | 2023年3月期3Q | 168,186,975株 |

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2024年1月31日(水)に証券アナリスト及び機関投資家向けにテレフォンカンファレンスを開催する予定であります。使用する資料等は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)の世界経済は、燃料・資源価格の上昇は抑えられているものの高止まりをしており、またロシアのウクライナ侵攻など地政学リスクが依然高く、不透明感が続いています。

このような状況の中、当社グループは前期より開始した中期事業計画“*KAYAKU Vision 2025*”が2年目に入り、引き続き事業ごとに定めた「ありたい姿=Vision」に向けたロードマップを実行するとともに、ありたい姿実現に向けて定めた全社重要課題に対し取組を進めています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高はモビリティ&イメージング事業領域及びライフサイエンス事業領域が前年同四半期を上回ったものの、ファインケミカルズ事業領域が前年同四半期を下回ったことにより、1,497億5千3百万円となり、前年同四半期に比べ38億7千4百万円(2.5%)減少しました。

営業利益は原材料価格高騰の影響、ファインケミカルズ事業領域の売上高減少に加え、医薬事業のアンハート社への契約締結一時金60億円の支払いに伴う販管費の増加により、41億1千1百万円となり、前年同四半期に比べ149億5千万円(78.4%)減少しました。

経常利益は為替差益等により、74億7千3百万円となり、前年同四半期に比べ135億2千1百万円(64.4%)減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券評価損等により、28億2千9百万円となり、前年同四半期に比べ124億1千2百万円(81.4%)減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(モビリティ&イメージング事業領域)

売上高は607億9百万円となり、前年同四半期に比べ59億5千9百万円(10.9%)増加しました。

セイフティシステムズ事業は、国内は半導体不足等の影響が一部解消し自動車生産が回復したことにより、エアバッグ用インフレーターは前年同四半期を上回り、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーターも前年同四半期を上回りました。また、海外は欧米、中国及びASEAN地域とも総じて堅調な需要に支えられたことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター、スクイブは前年同四半期を上回りました。この結果、セイフティシステムズ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

ポラテクノ事業は、X線分析装置用部材は堅調に推移したものの、染料系偏光フィルムは車載用需要が低迷したことにより、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は原材料価格高騰による製造原価の上昇により、58億6千1百万円となり、前年同四半期に比べ8億9千1百万円(13.2%)減少しました。

(ファインケミカルズ事業領域)

売上高は407億4千2百万円となり、前年同四半期に比べ108億9千2百万円(21.1%)減少しました。

機能性材料事業は、民生向け需要の低迷及び半導体関連部材の市況回復の遅れを受けエポキシ樹脂をはじめ各製品群が低調に推移したことにより、機能性材料事業全体で前年同四半期を下回りました。

色素材料事業は、感熱顔色剤が好調であったものの、産業用インクジェットプリンタ用色素、コンシューマー用インクジェットプリンタ用色素が低調に推移したことにより、色素材料事業全体で前年同四半期を下回りました。

触媒事業は低調に推移し前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は機能性材料事業、色素材料事業及び触媒事業の売上高が減少したことにより、32億7千5百万円となり、前年同四半期に比べ62億3百万円(65.4%)減少しました。

(ライフサイエンス事業領域)

売上高は483億1百万円となり、前年同四半期に比べ10億5千8百万円(2.2%)増加しました。

医薬事業の国内向け製剤は、光線力学診断用剤「アラグリオ®顆粒剤分包」の市場浸透、前期に上市した抗体バイオシミラー「ベバシズマブBS」が寄与し、ほぼ前年同四半期並みとなりました。輸出は前年同四半期を下

回ったものの、国内向け原薬、受託事業、診断薬は前年同四半期を上回り、医薬事業全体としては前年同四半期を上回りました。

アグロ事業の輸出は前年同四半期を上回りましたが、国内向け販売が低調に推移しアグロ事業部全体としては前年同四半期を下回りました。

不動産事業は、前年同四半期並みとなりました。

セグメント利益は、医薬事業のアンハート社への契約締結一時金の支払いに伴う販管費の増加により、8億8千8百万円となり、前年同四半期に比べ75億8千7百万円(89.5%)減少しました。

なお、第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い「機能化学品事業」、「医薬事業」、「セイフティシステムズ事業」としていた報告セグメントを「モビリティ&イメージング事業領域」、「ファインケミカルズ事業領域」、「ライフサイエンス事業領域」に変更しており、各セグメントの前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で算出しております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は3,512億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ284億3千5百万円増加しました。主な増加は、投資有価証券97億8千8百万円、受取手形及び売掛金91億2千9百万円であります。

負債は913億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ235億5千1百万円増加しました。主な増加は、短期借入金92億8千5百万円、長期借入金53億円、支払手形及び買掛金50億9千万円、未払金39億4百万円あります。

純資産は2,599億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億8千4百万円増加しました。主な増加は、その他有価証券評価差額金55億9千2百万円、為替換算調整勘定42億8千4百万円、主な減少は利益剰余金50億4千7百万円あります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、米国経済が堅調に推移しているなど期待が出来る面がある一方で、ロシアのウクライナ侵攻を始めとした地政学リスク、燃料・資源高による世界的なインフレ進行、中国不動産価格の調整の長期化や各国の金融引き締め策などにより景気の下振れリスクがあります。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応し、株主価値を高める経営資本の最適化を進め、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 48,051 | 49,602 |
| 受取手形及び売掛金 | 53,550 | 62,679 |
| 電子記録債権 | 2,004 | 2,866 |
| 有価証券 | 6,296 | 4,840 |
| 商品及び製品 | 46,217 | 45,084 |
| 仕掛品 | 1,130 | 822 |
| 原材料及び貯蔵品 | 23,759 | 25,422 |
| その他 | 5,072 | 9,706 |
| 貸倒引当金 | △44 | △179 |
| 流動資産合計 | 186,037 | 200,845 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 42,544 | 43,044 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 26,069 | 25,578 |
| その他（純額） | 20,644 | 24,615 |
| 有形固定資産合計 | 89,259 | 93,238 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,492 | 2,090 |
| その他 | 4,047 | 3,865 |
| 無形固定資産合計 | 6,539 | 5,955 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 32,146 | 41,935 |
| 退職給付に係る資産 | 3,845 | 3,971 |
| その他 | 5,084 | 5,402 |
| 貸倒引当金 | △54 | △54 |
| 投資その他の資産合計 | 41,021 | 51,254 |
| 固定資産合計 | 136,820 | 150,449 |
| 資産合計 | 322,858 | 351,294 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,239 | 21,329 |
| 短期借入金 | 3,380 | 12,666 |
| 1年内償還予定の社債 | - | 8,000 |
| 未払金 | 10,662 | 14,566 |
| 未払法人税等 | 2,133 | 1,102 |
| その他 | 6,633 | 6,830 |
| 流動負債合計 | 39,049 | 64,495 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 8,000 | - |
| 長期借入金 | 8,200 | 13,500 |
| 退職給付に係る負債 | 395 | 408 |
| その他 | 12,186 | 12,979 |
| 固定負債合計 | 28,782 | 26,887 |
| 負債合計 | 67,831 | 91,383 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,932 | 14,932 |
| 資本剰余金 | 15,803 | 15,828 |
| 利益剰余金 | 202,976 | 197,929 |
| 自己株式 | △5,523 | △5,412 |
| 株主資本合計 | 228,189 | 223,278 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,023 | 13,616 |
| 為替換算調整勘定 | 17,331 | 21,616 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 473 | 420 |
| その他の包括利益累計額合計 | 25,828 | 35,653 |
| 非支配株主持分 | 1,008 | 978 |
| 純資産合計 | 255,027 | 259,911 |
| 負債純資産合計 | 322,858 | 351,294 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 153,627 | 149,753 |
| 売上原価 | 100,640 | 104,343 |
| 売上総利益 | 52,986 | 45,409 |
| 販売費及び一般管理費 | 33,924 | 41,298 |
| 営業利益 | 19,062 | 4,111 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 381 | 585 |
| 受取配当金 | 852 | 948 |
| 持分法による投資利益 | - | 89 |
| 為替差益 | 517 | 1,411 |
| その他 | 611 | 803 |
| 営業外収益合計 | 2,362 | 3,837 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 95 | 131 |
| 持分法による投資損失 | 47 | - |
| その他 | 287 | 345 |
| 営業外費用合計 | 430 | 476 |
| 経常利益 | 20,994 | 7,473 |
| 特別利益 | | |
| 持分変動利益 | 123 | - |
| 固定資産売却益 | 479 | 170 |
| 投資有価証券売却益 | 413 | 1,385 |
| 特別利益合計 | 1,015 | 1,555 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | - | 75 |
| 固定資産処分損 | 385 | 461 |
| 投資有価証券評価損 | 3 | 4,265 |
| 特別損失合計 | 388 | 4,802 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 21,621 | 4,226 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,209 | 2,739 |
| 法人税等調整額 | 1,116 | △1,393 |
| 法人税等合計 | 6,325 | 1,345 |
| 四半期純利益 | 15,296 | 2,881 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 54 | 52 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 15,241 | 2,829 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 15,296 | 2,881 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △654 | 5,590 |
| 為替換算調整勘定 | 3,316 | 4,345 |
| 退職給付に係る調整額 | △259 | △53 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1 | 3 |
| その他の包括利益合計 | 2,403 | 9,885 |
| 四半期包括利益 | 17,699 | 12,766 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 17,638 | 12,654 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 61 | 112 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2 |
|-----------------------|--------------------------|-----------------------|------------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | モビリティ& イメージング 事業領域 | ファインケミ カルズ事業領 域 | ライフサイエ ンス事業領域 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 54,750 | 51,634 | 47,242 | 153,627 | — | 153,627 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | 122 | 0 | 122 | △122 | — |
| 計 | 54,750 | 51,756 | 47,243 | 153,750 | △122 | 153,627 |
| セグメント利益 | 6,752 | 9,479 | 8,476 | 24,708 | △5,645 | 19,062 |

(注)1 セグメント利益の調整額△5,645百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,668百万円及びセグメント間取引消去23百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2 |
|-----------------------|--------------------------|-----------------------|------------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | モビリティ& イメージング 事業領域 | ファインケミ カルズ事業領 域 | ライフサイエ ンス事業領域 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 60,709 | 40,742 | 48,301 | 149,753 | — | 149,753 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | 129 | 0 | 130 | △130 | — |
| 計 | 60,709 | 40,872 | 48,301 | 149,883 | △130 | 149,753 |
| セグメント利益 | 5,861 | 3,275 | 888 | 10,025 | △5,913 | 4,111 |

(注)1 セグメント利益の調整額△5,913百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,860百万円及びセグメント間取引消去△53百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モビリティ&イメージング事業領域」セグメントにおいて、連結子会社のデジマ テック B.V. は経営環境の変化に伴う収益性の低下等により、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては75百万円であります。

III 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い「機能化学品事業」、「医薬事業」、「セイフティシステムズ事業」としていた報告セグメントを「モビリティ&イメージング事業領域」、「ファインケミカルズ事業領域」、「ライフサイエンス事業領域」に変更しております。

各報告セグメントを構成する主要製品は以下のとおりです。

| 報告セグメント | 売上区分 | 主要な製品・サービス |
|------------------|------------|---|
| モビリティ&イメージング事業領域 | セイフティシステムズ | エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター、スクイブ |
| | ポラテクノ | 液晶ディスプレイ用部材、液晶プロジェクター用部材、X線分析装置部材 |
| ファインケミカルズ事業領域 | 機能性材料 | エポキシ樹脂、マレイミド樹脂、エポキシ樹脂用硬化剤、反応性難燃樹脂、アクリル酸エステル、レジスト用紫外線硬化型樹脂、MEMS用レジスト（液状並びにドライフィルムレジスト）、LCD・半導体用クリーナー、液晶ディスプレイ用シール剤、半導体製造装置（ラミネーター、リムーバー、マウンター、UV照射機） |
| | 色素材料 | インクジェットプリンタ用色素、インクジェット捺染用染料、産業用インクジェットインク、イメージセンサー用材料、調光ガラス用二色性色素、近赤外線吸収剤、繊維用及び紙用染料、樹脂用着色剤、感熱顕色剤、顔料誘導体（シナジスト） |
| | 触媒 | アクリル酸製造用触媒、アクロレイン製造用触媒、メタクリル酸製造用触媒 |
| ライフサイエンス事業領域 | 医薬 | 抗悪性腫瘍剤、生物学的製剤、循環器用剤、光線力学診断用剤、体外診断用医薬品、血管内塞栓材、医薬原薬・中間体、食品添加物、健康食品素材、食品品質保持剤、洗浄除菌剤 |
| | アグロ | 殺虫剤、除草剤、殺菌剤、殺ダニ剤、防疫用殺虫剤、土壌殺菌剤、動物忌避剤 |
| | 不動産 | 不動産事業 |

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。